

「教育資源を生かした探究学習の充実」

皆様はじめまして。今年4月よりにかほ市の地域おこし協力隊として、「仁賀保高校魅力化プロジェクト」に携わります金高俊哉と申します。

私は東京都品川区の出身で、定年までの40年間、東京の小学校で教員をしていました。教員時代はさまざまな形でICTを活用した探究学習の指導に取り組んできました。

今回、ご縁があつてにかほ市にお世話になることとなりました。正直なところ、赴任するまでにかほ市のことはあまりよく知りませんでした。ですが、わずかひと月でにかほ市の豊かな自然やおいしい食べ物、見知らぬ私にもやさしく挨拶をしてくださる地域の方々のお人柄など、この市の良さをたくさん味わわせていただきました。また、

地域巡りをしていると私自身が学ぶことが多く、新鮮な気持ちで過ごすことができます。

現在、勤務している仁賀保高校も生徒数こそあまり多くはありませんが、先生方がとても熱心に指導されていますし、生徒たちはみな素直で、少人数の良さを生かした手厚い指導が行われているとても素敵な学校です。



▶マンツーマンで生徒をサポート

今後は地域コーディネーターとして、主に総合的な探究の時間のお手伝いをさせていただきます。にかほ市の豊かな教育資源を生かしながら、生徒が主体的に学べる環境を整え、共に、仁賀保高校やにかほ市の魅力を多くの方に知っていただけるように全力で取り組んでいきたいと考えています。

仁賀保高校の魅力化を推進していくためには、皆様のお力をお借りすることもあるかと思いますが、

ですが、何卒よろしく願いいたします。

市内行事などにも参加していきたいと思っております。お見かけの際は、ぜひお声をかけください。



金高 俊哉
Toshiya Kanetaka
勤務先：仁賀保高校
出身地：東京都



仁賀保高校 にかほ市学習センター —きっとある ここにある 君の居場所—

生徒一人ひとりの学習習慣の定着と進路実現をサポートする「にかほ市学習センター」が仁賀保高校生を対象にオープン。放課後、君の居場所をここで探そう！



デジタルミュージアム

市内のミュージアム（博物館）

3月、にかほ市デジタルミュージアムが公開されました。デジタルミュージアムについての説明の前に、にかほ市内の博物館（ミュージアム）について紹介します。

まず、にかほ市には規模の大小、運営主体の別にかかわらず、5つのミュージアムがあります。もともと法律が定める博物館としての要件、たとえば学芸員が常駐しているなどといった条件を満たしていませんので登録博物館とはなりません。ただその性質等をみれば十分に博物館の機能を果たしていることから、「博物館類似施設」に分類される施設となっています。

5館の内、市主体は「フェライト子ども科学館、白瀬南極探検隊記念館、象潟郷土資料館」の3つで、残りの2つは民間主体の、（公財）斎藤宇一郎記念会による「斎藤宇一郎記念館」と、TDKによる「TDK歴史みらい館」になります。いずれのミュージアムもそれぞれに特徴があります。

《フェライト子ども科学館》

子どもたちに科学に親しみを覚えてもらうための体験型のミュージアム。年間3万人超の来館者。

《白瀬南極探検隊記念館》

白瀬矗の壮大な夢とロマン、仲間たちの南極にかけた人間ドラマを伝えるミュージアム。年間来館者数は約1万人。

《象潟郷土資料館》

隆起前の「象潟」のジオラマ、2500年前の埋もれ木、松尾芭蕉『おくのほそ道』をはじめとした関係資料、池田修三氏の木版画作品などを展示。年間来館者数は約3千人。

《斎藤宇一郎記念館》

乾田馬耕など農業の近代化と法制化に尽力した斎藤宇一郎に関する資料や、戦国時代からにかほ市を治めた仁賀保家に関する品々を展示。

《TDK歴史みらい館》

20年前に「TDK歴史館」として整備され、10年前に「TDK歴史みらい館（TDKミュージアム）」に全面リニューアル。TDKの製品や技術が社会で果たしてきた役割と、未来社会への関わりについて映像などで学ぶことができる体験型ミュージアム。

《デジタルミュージアム》

デジタルミュージアムはデジタルアーカイブの整備によって実現した機能です。デジタルアーカイブとは「古文書や公文書の保管場所」を表すアーカイブに「デジタルをくっつけた造語で、「古文書などを写真等でデジタル方式のデータとして蓄積・保管すること」を意味します。そして、このシステムを一般に公開し、誰でもネットで手軽に検索できるようにしたのが今回のデジタルミュージアムです。分かりづらい説明となってしまいましたが、簡単に言うと、別々に存在しているそれぞれのミュージアムがオンライン上

では一つにまとまり、それぞれが持つ資料を、誰でもいつでもすぐに見られるようにしたのがデジタルミュージアムとなります。来ないで見られず体験もできなかった、にかほ市の歴史や文化や科学を、自宅からパソコンやスマホで簡単に見ることができるようになったわけです。

期待される効果

なお、今回は完全な民間であるTDK歴史みらい館は、国の交付金要件により参加することができませんでしたが、今後はこれまでの5館連携の枠組みを使って協同していく予定です。

デジタルミュージアムは、子どもたちの学習教材、研究者にとっての資料検索、観光分野への応用など、多くの場面で活用することができます。また、シビックプライドの醸成にも役立つはずです。2月号コラムでも述べたように「知らなかったことを知れば自分たちの暮らす地域の価値に気付くことができる」ようになります。地元への愛着が深まっていくようになります。子どもたちのみならず大人の皆さんにも、市の自然や歴史などをあらためて知っていただきたいと思いたいます。ぜひデジタルミュージアムにご来館ください。もちろん入館料は無料です。



にかほ市長
市川雄次

